

ふりがな 団 体 名	しょうねんいくせいきょうしつ 少年育成教室「しまだガンバ!」 しどういん きょうりょくいん 指導員・協力員
---------------	--

当事業は、社会教育法第5条第1項第14号に基づき、近年の青少年を取り巻く社会環境が、急激に変化・複雑化する中で、心身ともにたくましく、「生きる力」を育むため、青少年に対し、生活集団体験や野外活動体験等を行っている。この事業実施に当たっては、青少年健育成に理解があり、野外体験活動等の活動経験が豊富な指導員（レクリエーション協会・ボーイスカウト、元教員、ペアレントサポーター等）と、ボランティアである協力員等の協力により、市内の小学生を対象に、野外体験活動等を通じて、連帯感やコミュニケーション能力、協調性、危険予知等を身に着けることを目的としている。年間の事業の企画・立案は、指導員会議を通じて、担当指導員が事業を統括する。本年4月で、16年目を迎えた当団体の長年の活動は、現在における自然や地域社会と深く関わる機会の減少や集団活動の不足等の中で、指導員らを中心とし、市内の様々な地域をフィールドとして活用し、野外体験活動等を通じて子どもを育む環境づくりに寄与する。

活動内容等

(1) 事業の目的 及び活動の 方向性	社会教育法に基づき、青少年に対し、近年の青少年を取り巻く社会環境の変化に伴い、自然や地域社会と深く関わる機会の減少、集団活動の不足等が課題となっている中で、自然と触れ合い5感（見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れる）を感じ、他校児童や異年齢交流により、集団宿泊体験や、幅広い年齢層との多様な交流機会等を通じて、自ら考え、または仲間同士で考え、豊かな人間性と心身ともにたくましく「生きる力」を育む。今後も、市内のさまざまなフィールドを活動の場として、指導員、協力員が活動の企画・立案をし、事業前には指導員会議を実施し、担当指導員が当日の事業を統括する。
(2) 活動体制等 (連携する団体、 子供・地域住民 等の参加状況、 活動年数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は、青少年健全育成に理解があり、野外活動体験等の活動経験が豊富な「しまだガンバ! 指導員」9人 ・無償ボランティアで指導員を補助する「しまだガンバ! 協力員」3人 ・将来的に子どもたちの指導員を目指したり、主体的に地域の中でボランティア活動を展開しようとする「青年ボランティア」4人 ・中高校生を対象に、青少年リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする者に対して、少年育成教室「しまだガンバ!」事業を機会とし、リーダー養成を図る「はばたけリーダー! 2024」11人 ・少年育成教室「しまだガンバ!」事業参加者 市内小学校の4～6年生 30～35人
(3) 活動内容 及び成果	<p>各指導員が年間を通じて計画・立案する。活動内容では、開級式、仲間づくりレクリエーションのほか、水難事故防止のための川の正しい知識や身に着けるもの等を学ぶ訓練、火おこし体験、野外料理づくり、集団宿泊体験や旧諏訪原城址での忍者修行、自然の物を利用したクラフト制作等を開催する。安全に活動ができるように、「はばたけリーダー」や「青年ボランティア」が積極的に活動に参加。児童との交流により、「しまだガンバ!」児童が、将来、「はばたけリーダー」や「青年ボランティア」となる。</p> <p>現在の「はばたけリーダー」の多くは「しまだガンバ!」経験者である。また「青年ボランティア」は、「はばたけリーダー」経験者である。「青年ボランティア」がいずれは指導員・協力員になることを期待し、切れ間なく、段階的に地域の中でのリーダーとなり、家庭や地域力の向上につなげていきたい。</p>
(4) その他 特記事項	<p>平成20年度から実施し、今年4月で16年目の実施となる。</p> <p>なお、この前身は、旧島田市で昭和55年度から実施の「少年たくまし教室」、旧金谷町では、昭和53年度から実施の「ふるさと学級」、平成17年度の合併により再編し、『少年育成教室「しまだガンバ!」』に名称変更して開催。平成20年度には、旧川根町との合併により、当時実施していた「少年少女わんぱく探検隊」が統合され、現在に至る。この中でも、指導員が中心となり、事業をけん引する。</p>